

記入例

受付番号

No.

※受付番号は受付期間にお知らせした番号をご記入ください

期限厳守 受付期間
令和〇年〇月〇日～〇月〇日

行政書士

氏名

電話

年 月 日

令和〇年度 農業振興地域内の農用地除外要望書

中津川市長様

住所 中津川市 中津川 1234-5

土地所有者

ふり氏 なが名 なかつ中津 たろう太郎 印

電話 66-1234

住所 中津川市 駒場 5432-1

転用事業者

ふり氏 なが名 なかつ中津 じろう次郎 印

電話 090-0909-0909

昭和46年度（令和〇年〇月変更）に中津川市が定めた農業振興地域整備計画で農用地区域に設定された農用地を、下記理由により農用地から除外されたく関係書類を添えて要望します。

1. 除外を受けようとする土地の所在等

土地の所在 （中津川市）	地番	地目		登記面積	利用面積	耕作者
		台帳	現況			
中津川字恵下	1 1 1 1－1	田	田	7 6 5 ㎡	4 7 8 ㎡	中津 太郎
計				7 6 5 ㎡	4 7 8 ㎡	
全体事業面積 上記土地以外の 一体利用の場合のみ記入	総計 筆／㎡					
	地目内訳（田 ㎡ 畑 ㎡ その他 ㎡）					
※「地目」は台帳地目を記入、台帳が農地以外の場合は現況地目を記載してください						

2. 関係法令

農業公共投資 実施状況	事業名	県営ほ場整備事業	地区名	〇〇地区
	事業期間	昭和53年度～昭和63年度	事業主体	岐阜県
	工事完了 公告日	平成2年3月30日	完了後8年	経過
農地取得経過関係	取得後3年 経過 取得年月日 昭和60年10月10日			
公道との接続関係	幅員4.3m 市道6789号線に接続			

3. 除外理由

除外の目的	分家住宅	事業の 予定	着工	令和	〇年	〇月	〇日		
			完了	令和	〇年	〇月	〇日		
売買・使用貸借・賃貸借（ 年）・贈与・その他									
◆除外理由（必要性、緊急性）									
太郎（土地所有者）と次郎（転用事業者）は親子であり、次郎（土地所有者の長男）は駒場でアパート住まいである。子どもが3人おり、子どもの成長に伴い、現在暮らしているアパートが手狭となった。太郎は、両親と暮らしているため、家が手狭で同居も出来ず、増築するスペースも周りにない。土地所有者は高齢であるため、転用事業者は農業後継者として土地所有者の農地を管理する必要がある、実家の近隣に分家住宅を新築するものである。									
◆規模の妥当性									
申請地は、住宅、駐車場（転用事業者夫婦用2台分）として利用されるものであり、分家住宅の基準500㎡に照らし合わせ適当である。									
◆周辺農地の影響									
申請地は、宅地と農地の混在する宅地の一角であり、農地を分断し高性能機械による営農や効率的な病虫害防除等に支障もなく、高い建築物が設置される計画でない。日照や通風など隣接農地の農作物への影響もないことから農業上の効率的な利用に支障がないと認められる。									
◆排水路等施設機能への影響									
申請地周辺は畑で、雨水・下水は合併浄化槽で宅内処理後、排水専用水路に流す予定であることから農業用施設等の有する機能に支障を及ぼす恐れはない。									

4. 土地の選定理由

除外を希望する土地が農振農用地区域外の土地で代替できないか、除外しようとする者の所有地が農用地区域外にない場合は、農用地区域外の農地と交換して利用できないか等について検討してもなお農用地区域外に代替すべき土地がないこと。

他に申請（所有） できる土地	<div>ある</div> ない
他に申請（所有）できる土地がある場合に、申請地でなければ立地できない合理的理由、選定根拠についての説明	転用事業者は、住宅・車庫が一面的に確保できる土地であること、
	車道からの進入路を確保できる土地であることを条件に土地の検討
	を行なった。転用事業者は土地を所有しておらず、土地所有者が所有
	する土地の中で条件に適合する土地は申請地しかなく、申請地を選択せざるを得なかった。

分筆する場合の残地 利用計画	残地は、畑として利用予定である。
-------------------	------------------